



令和4年6月18日（土）に開催しました「第19回 運動遊びプレイラー研修会」の様子をレポートします！
講師は、中村和彦先生と眞砂野裕先生です！

講師：中村 和彦 先生
(国立大学法人山梨大学 理事・副学長)
YBS山梨放送「ゴリラパンダ」ダンス
NHK 2020応援ソング「パプリカ」ダンスなどを監修

講師：眞砂野 裕 先生
(東京都昭島市立光華小学校 校長)
日本トップリーグ連携機構 JTLプレイラー
ミズノ株式会社 プレイラー・マイスター

講義



山梨大学理事・副学長の中村和彦先生からは、

- 求められる子どもの運動のあり方として大事なことは、
- ・小学生低学年までは、競技志向を軽減すること。
 - ・幼児期にいろいろな動きを経験することが運動能力の向上につながるから、複数の運動遊び・スポーツが体験できる場を提供すること。
 - ・低体力・低運動能力の子どもへ運動遊び・スポーツを提供すること。
 - ・運動嫌いな子どもが、遊びやスポーツにのめり込む取り組みを推進すること。

などのお話をいただきました。

実技【テーマ：ロープやタオルを使って遊ぼう。】



■ 縄跳びで重要なことは、「視覚」情報を楽にしてあげることです。自分と縄との距離感をつかみやすくするために、跳ぶ位置(床)や、縄の中央に目印などをつけて、どこを見ればよいか明確にします。子供が縄に入るタイミングは、「縄を追いかけるようにスタート！」がキーワードです。



■ タオルを使ってあそんでみましょう。丸めてキャッチボールしたり、いろいろな姿勢で引っ張り合うことで、モノを操作するのに必要な「連結能力」「識別能力」「定位能力」の向上につながります。



■ 魔法の国ごっこでパートナーとの信頼関係をさらに深めます。「魔法のじゅうたん」で遊みましょう。